

# 決 算 報 告 書

平成 2 3 事業年度

国立大学法人宮崎大学

# 平成23年度 決算報告書

国立大学法人宮崎大学

(単位：百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,681	10,689	7	
施設整備費補助金	173	173	0	
厚生労働省交付金	460	297	△ 162	(注1)
補助金等収入	1,930	1,669	△ 260	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	57	57	0	
自己収入				
授業料、入学金及び検定料収入	3,268	3,232	△ 35	
附属病院収入	14,013	15,119	1,105	(注3)
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	320	475	155	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,232	1,165	△ 66	
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	3,434	2,048	△ 1,386	(注5)
貸付回収金	-	-	-	
前中期目標期間繰越積立金取崩	-	-	-	
目的積立金取崩	-	-	-	
計	35,572	34,928	△ 643	
支出				
業務費				(注6)
教育研究経費	11,828	11,381	△ 447	
診療経費	15,357	16,026	669	
施設整備費	4,125	2,426	△ 1,698	(注7)
補助金等	1,930	1,669	△ 260	(注8)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,232	1,020	△ 212	(注9)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	1,097	1,092	△ 5	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	-	-	-	
計	35,572	33,617	△ 1,954	
収入-支出	-	1,311	1,311	

○予算と決算の差異について

(注1) 厚生労働省交付金については、中央診療部等改修事業の工期が平成25年3月末までに延長となったため、予算額に比して決算額が162百万円少額となっています。

(注2) 補助金等収入については、各種補助金の受入額の減により、予算額に比して決算額が260百万円少額となっています。

(注3) 附属病院収入については、東病棟改修による休止病棟の取り止めや外来患者数の増等により、予算額に比して決算額が1,105百万円多額となっています。

(注4) 雑収入については、教員免許状更新講習事業及び科研費間接経費受入増等により、予算額に比して決算額が155百万円多額となっています。

(注5) 長期借入金収入については、中央診療部等改修事業の工期延長及び東病棟等改修事業における落札率低下に伴い、予算額に比して決算額が1,386百万円少額となっています。

(注6) 業務費については、経費の節減、複数年にわたる事業において業務達成基準を適用し支出を次年度に繰り延べたこと等により、教育研究経費が予算額に比して447百万円少額となった一方、病院再整備に伴う医療設備更新による備品費の増、附属病院における業務改善及び体制強化のための教職員の増員による人件費の増、(注3)に示した理由等により、診療経費が予算額に比して669百万円多額となっています。

- (注7) 施設整備費については、(注1)及び(注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が1,698百万円少額となっています。
- (注8) 補助金等については、(注2)に示した理由等により、予算額に比して決算額が260百万円少額となっています。
- (注9) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、受託研究等の受入減及び寄附金の支出減等により、予算額に比して決算額が212百万円少額となっています。